

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和5年度	会計コード	10	一般会計	事業コード	70027
事業名	美食のまち・さっぽろブランド推進費					
評価担当課	所 属	経)産業振興部 産業振興課			電話番号	011-211-2392
施策名	札幌市・北海道の強みである食や観光分野の産業が、時代の潮流を					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外					
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費			○ 内部管理	○ 法定経費	○ 指定管理費
	● 直営 ○ 一部委託 ○ 全部委託 ● 補助・助成 ○ その他					

事業内容	事業の背景(現在の状況、社会的課題)	札幌市は、北海道の食の「一大消費地」であるとともに、一次産品の付加価値を高めるための食関連製造業が多く立地しているなど、「食分野」を札幌産業を支える重点分野の一つとして位置付けているが、今後、市内産業全体の更なる発展に向けては、北海道・札幌の食文化・食産業の認知度が世界で高まり、「食」を切り口に、ヒト・モノ・資金・情報を世界から集めることが重要である。 そのため、企業や自治体による単独の取組ではなく、官民の共創コラボレーションにより、「食」を通じたイノベーションの創出や、まちの魅力・ブランド力の向上を実現するため、食の研究拠点化、映像を活用した食と文化の魅力発信を進めていく必要がある。
	事業内容(何を実施し)	①食の先端拠点化プロジェクト 食に関わる企業や関係団体等を含めた官民協議体を組成し、食の研究開発拠点の創出や官民共創の各種プロジェクトを実施するもの。 なお、令和5年度は、当該協議体組成等に向けた検討及び各種調整を実施していたが、実施体制・企画立案に係る各種調整に時間を要したため、令和5年度中の協議会組成には至らず、引き続き、組成に向けた調整と組成後の事業内容の検討を行っている。 ②映像を活用した食と文化の魅力発信 令和4年12月にクリエイティブオフィスキュー／北海道新聞社／札幌市の3者により、札幌の食と文化の魅力発信を目的とした協定を締結しており、発信力のあるこれら2者との連携を核として、映像産業、食産業への具体の波及を生みながら、以下の取組を実施した。 ・HOKKAIDO FOOD FILM FESTIVALのプレ開催 具体的には、北海道を舞台に食の魅力を描いている映画の上映会及びトークショーの開催、フードシネマ上映会や市内中心部の飲食店と連携したサッポロシネマバル(市内飲食店20店が参加)の開催など。
	どのような状態にしたい(状態を維持したい)	札幌が食文化・食産業の発信拠点として世界に認知され、官民の共創コラボレーションにより、札幌発の新たな食関連ビジネスが創出されている。
	他都市の状況	特定の産業集積・拠点化を通じた産業振興やまちの価値向上を目的に、自治体とまちの開発を行う事業者が中心となって官民連携組織を立ち上げ、各種事業を実施する事例が増えている。 ・スタートアップ企業の集積・拠点化: 渋谷駅周辺における渋谷区と東急不動産の連携 ・健康増進産業の集積・拠点化: 横浜駅西口地区における横浜市と相鉄の連携
	市民参加の実施	☐ 企画 ☐ 実施 ☐ 評価 ☒ 対象外

令和4年度決算額	0 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	0 人工
令和5年度予算額	25,000 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	0.5 人工
令和5年度決算額	15,000 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	0.5 人工
令和6年度予算額	25,000 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	0.5 人工

指標	アウトプット活動指標1	食関連のイベントへの参加人数				という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		－	400名	864名	440名	480名	530名
	↓						
	アウトカム成果指標1	札幌の魅力が「食」であると思う人の割合				という状態にしたい、成果を挙げたい	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		45.40%	48.00%	49.20%	51.00%	54.00%	57.00%
	指標1の評価、未達理由、今後の考え方	本指標は、札幌の食文化・食産業の魅力が世界に認知されるためには、市民自身の意識向上が前提にあることから、市民が参加する食・映像イベントを切り口として設定したもの。 今後、食の先端拠点化プロジェクト等で関わる市民・企業等にも波及させることで、数値向上を図りたい。					
	アウトプット活動指標2					という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	↓						
	アウトカム成果指標2					という状態にしたい、成果を挙げたい	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	指標2の評価、未達理由、今後の考え方						

今年度の見直し内容	食の先端拠点化プロジェクトについて、今年度中に官民協議体を組成すべく、準備を進めている。
来年度以降の方向性	官民協議体の推進体制や、官民共創によるコラボ事業について検討・実行するとともに、映像を活用した魅力発信を継続して実施していく。